



## 歩行者の優先する道路・ゾーンを示す標識



コミュニティ・ゾーン



ZONE30

ボンエルフ(オランダ) 1976年法制化

- ・庭の延長のような機能をもつ道路
- ・歩行者優先の徹底
- ・道路上での遊びも可



ドイツ



ベルギー



日本(浦安市入船西)

# 最近の動向



例: カルガリー(カナダ)

交通静穏化されたゾーンないし道路の入り口に設置するサイン

5

# わが国の方向性

- 道路構造令の改正(H13)  
 (凸部、狭窄部等)第31条の2  
 第4種第4級の道路又は主として近隣に居住する者の利用に供する第3種第5級の道路には、自動車を減速させて歩行者又は自転車の安全な通行を確保する必要がある場合においては、車道及びこれに接続する路肩の路面に凸部を設置し、又は車道に狭窄部若しくは屈曲部を設けるものとする。  
 - ハンプ、狭さく、クランク

個別のデバイスごとの標識か？ あるいは、ゾーンないし道路としての標識か？

各デバイスの組み合わせも十分ありうる

6

### 3つの可能性

- 道路単位の標識
- ハンプ標識(国連標識)
- ハンプ標識 + 道路単位の標識



## ゾーン標識と歩行者用サイン



ZONE20 Horsham(UK)



バリアフリーに配慮した道路設計





## 「バリアフリー・ゾーン」(重点整備地区等)での 取り組みの可能性

- ゾーン入り口
  - 特別な地区であることを示す標識
- 情報スタンド
  - 「？」
  - 丁寧な情報提供 + たまり空間機能
  - やや過剰な情報量でもデザインに配慮すれば街になじませることも可能では？